

第3回横浜市障害者研修保養センター横浜あゆみ荘指定管理者選定委員会 議事録

開催日時	平成 17 年 11 月 22 日（火） 午後 14 時から午後 17 時 15 分まで
開催場所	関内駅前第一ビル 2 階 特別会議室
議 題	1 応募団体審査 (1) ヒアリング 40 分【プレゼンテーション 10 分、質疑応答 30 分】 (2) 採点・指定管理者選定 2 選定結果報告について 3 その他
出席者	5 名（敬称略、50 音順） 石渡委員長、外ノ池委員、松崎委員、八島委員、山口委員 （欠席者 平井委員） ※ 欠席者がいるが、横浜市障害者研修保養センター横浜あゆみ荘指定管理者選定委員会要綱 第 6 条第 2 項の条件を充たしているので開催とする。
傍聴者	なし
応募者	・学校法人 国際学園 ・社会福祉法人 横浜市社会福祉協議会
開催形態	非公開（※ただし、ヒアリングのみ公開とする。）
議 事	1 応募団体審査 (1) ヒアリング 【 学校法人 国際学園 】 a 質疑 ① 障害者の雇用の考え方及び、その実績について ② 類似施設の運営・実績について ③ 今回応募した動機について ④ 身体障害者との関わり、実績について ⑤ 運営理念に書かれている障害福祉の様々な課題に対応するための人員体制について ⑥ 医療ケアの必要な方への対応や緊急時の医療体制について b 応答 ① 障害者雇用の実績はない。今後は積極的に考えていきたい。 ② 以前、民間会社の保養施設の管理・運営を行っていたことがあるが、現在は行っていない。また、障害者関連の施設の運営実績はない。

- ③ 学園の卒業生の多くが障害者施設等に就職していることから、障害者を支援する人材の育成において、地域の方や利用者の方との直接的な関わりの場を兼ね備えた横浜あゆみ荘に魅力を感じ、応募した。
- ④ 学園の教職員のうち、身体障害者施設の勤務経験をもつ者がおり、当学園での実習等の提供などにより、スタッフの人材育成を行うことも可能である。
また、県内の重度の身体障害者の施設に実習を申し込んでいる。
- ⑤ 未整理の部分も多いが、学校事業の経験を通し、「障害」として見えてこないような障害も含めた対応について、今後整理していくことが必要と考える。
- ⑥ 現時点で具体的な職員体制は未定だが、要請は増えていくと考えているので、現在の横浜あゆみ荘の医療体制を参考に考えていきたい。

【 社会福祉法人 横浜市社会福祉協議会 】

a 質疑

- ① 医療ケアの必要な方への対応や緊急時の医療体制について
- ② 利用者以外の障害者への対応状況について
- ③ 研修事業計画中の「障害者サロン」の具体的な内容について
- ④ 電話相談の現在の対応状況、今後の需要の見込について
- ⑤ 横浜市社会福祉協議会と統合後の職員体制の状況について
- ⑥ 給与改定の予定について
- ⑦ 利用者拡大のための具体的な方策について

b 応答

- ① 来年度は利用者の主治医との連絡体制の整備やあゆみ荘の主治医となるような近隣の医療機関確保を考えている。
- ② 全く何をするわけでもなくロビーやフロントの前でずっと座っている方、本を読んでいるような方にも、ゆっくりとくつろいでいただけるよう配慮している。
- ③ あゆみ荘にはカラオケの設備があり、利用者の方は歌が好きなので、大広間を開放して、カラオケをするというようなことを定期的にやっていくことを考えている。
- ④ 身体・知的障害者だけでなく、精神障害者への対応も進めていきたいと考えている。また、相談に対しては、基本的には需要のある限り応じていきたい。
- ⑤ 社会福祉協議会から4名の職員が支援センターに異動し、旧在宅援護協会の職員も社会福祉協議会へ異動している。
- ⑥ 人事給与改定は平成17年～18年の2年間で実施する予定である。人件費

について、現時点では見直しの具体的な案はできていない。

- ⑦ 現在は、関東圏の福祉事務所へのDM、公共施設の紹介冊子への掲載、過去の利用者へのキャンペーン紹介のDMの送付等を行っている。今後は、SWOD分析という手法を導入し、集客に務めていきたい。

(2) 採点・指定管理者選定

事務局で各委員の採点を集計。集計結果は次のとおりとなり、社会福祉法人横浜市社会福祉協議会を選定することを決定した。

① 選定方法

委員全員について集計し、順位点の低かった方の団体を指定管理者候補として選定

② 採点結果

	委員					合計
	A	B	C	D	E	
	順位点					
学校法人 国際学園	2	2	2	2	2	10
社会福祉法人 横浜市社会福祉協議会	1	1	1	1	1	5

③ 審査総評

これまでの審査を通しての総評が各委員から述べられた。

【学校法人 国際学園】

- ・ 経費節減に関して明確な数字を出しているのは評価できるが、事業計画が全体的に具体性に乏しく、実績の少なさをカバーするような提案内容は見受けられなかった。
- ・ 教育事業を手がける団体ならではの新しい発想や企画を期待したが、理念的なことが整理されておらず、運営方針も具体性を欠いていた。

【社会福祉法人 横浜市社会福祉協議会】

- ・ 現在の管理運営主体としての実績と安定感、事業計画における利用者本位のサービス提供と障害者への配慮の考え方を評価した。
- ・ 利用の促進策の開発、利用者の満足度の目標数字は今一步の努力が必要と

	思われるので、今後の課題としてもraitたい。 ・ 経費削減に関する提案は踏み込みが足りなかったが、職員の雇用形態の変更等、スクラップが必要な部分があると思われるので、今後の社会福祉協議会全体としての取り組みを期待したい。 2 選定結果報告書について 事務局から選定結果報告書の様式の案の説明がなされた。様式について特に意見はなく、案を基に作成することとされた。
決定事項	・ 障害者研修保養センター横浜あゆみ荘の指定管理者として、社会福祉法人社会福祉協議会を指定管理者として選定した。 ・ 選定結果報告書については、各委員のコメントを事務局でまとめ、案を作成した上で、委員長に確認し、確定することとした。
会議資料	1 指定管理者採点表 2 選定結果報告書（案）
その他	・ 本日の会議の議事録は、事務局で案を作成し、各委員に確認をして頂くこととした。 ・ 指定管理者の指定については、本日の選定結果をもとに、平成 18 年第 1 回市会定例会に指定議案を提出し、承認後、平成 18 年 2 月末頃に正式に指定を行う予定。